

2013年8月18日(日)
中日新聞 津市民版 20面 「まちのみ2」

IT生かした まちづくり考える

お酒や軽食を楽しみながら、まちづくりを考える催しが16日夜、津市大門の共有スペース「kaidan」であり、参加者同士で交流を深めた。

会社経営や市民団体のメンバーら10人が参加。講師役としてIT（情報技術）会社代表の阪和幸さん（37）＝鈴鹿市＝が、会員制交流サイト「フェイスブック」などを例にITの進歩を説明した。その後、ITを生かしたまちづくりの

津・大門 お酒飲みながら交流

あり方などを話し合った。

参加者の1人は、インターネット上で事業などを提案し、賛同する人が出資する「クラウドファンディング」について質問。まちづくりでもその仕組みが活かせるかなどを熱心に話し合った。

催しは、津市NPOサポートセンターが企画。今後も月1回のペースで開く予定という。問い合わせは、同センター＝電059（213）7200＝へ。

（宿谷紀子）

ITを生かしたまちづくりを話し合う参加者たち＝津市大門のkaidanで

